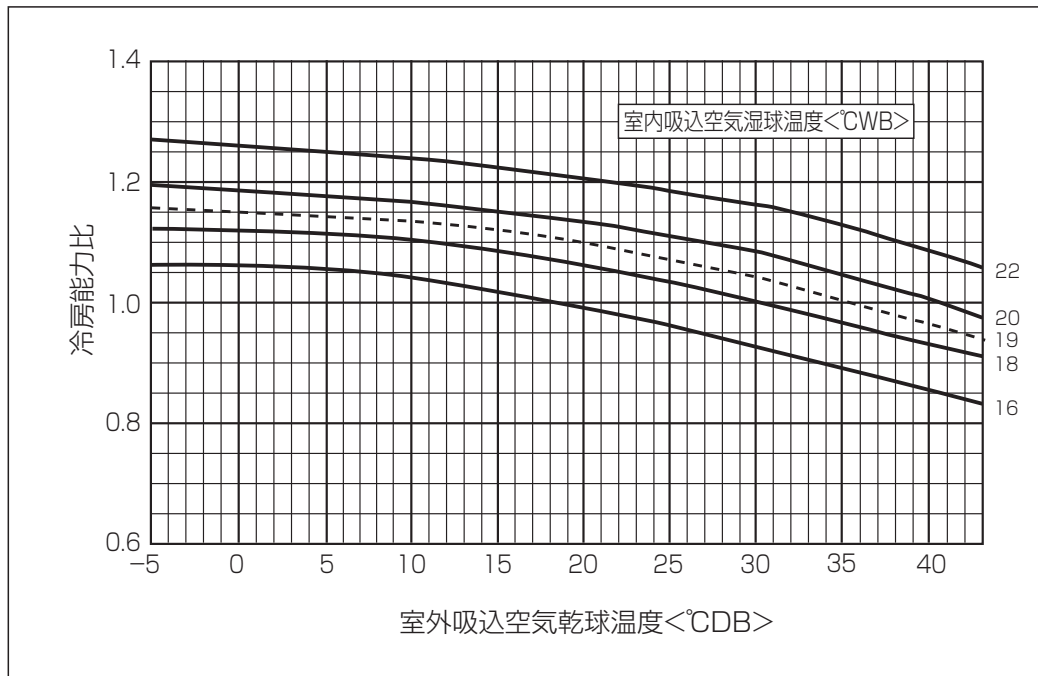


IV. 製品データ

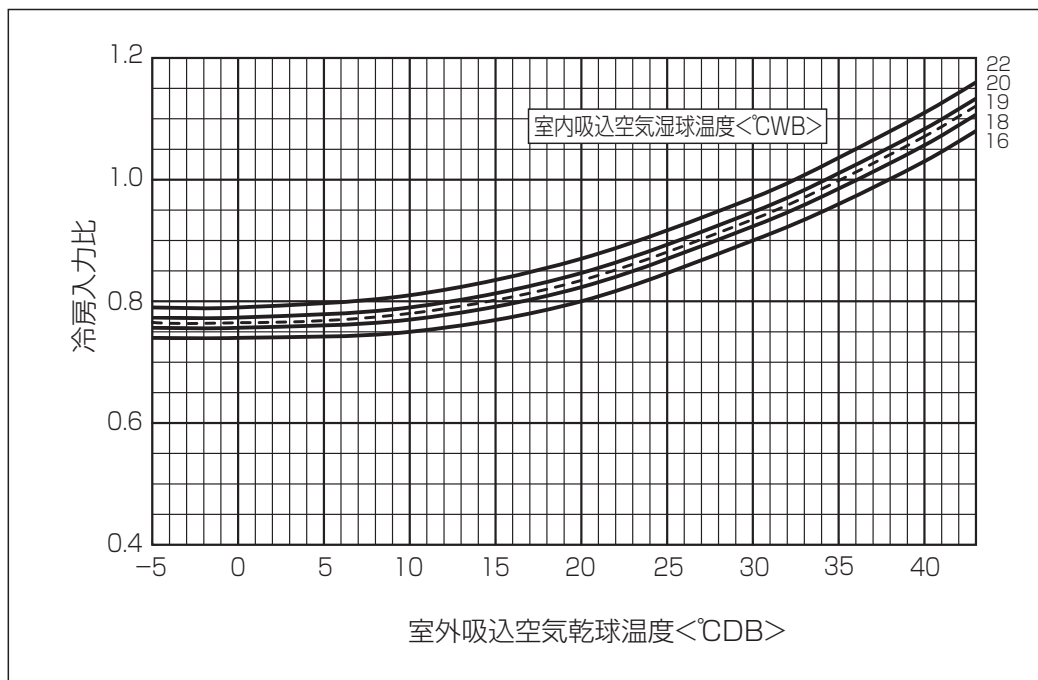
1. 能力特性

(1) 能力線図

■冷房能力線図 PUZ-SRP・HA11



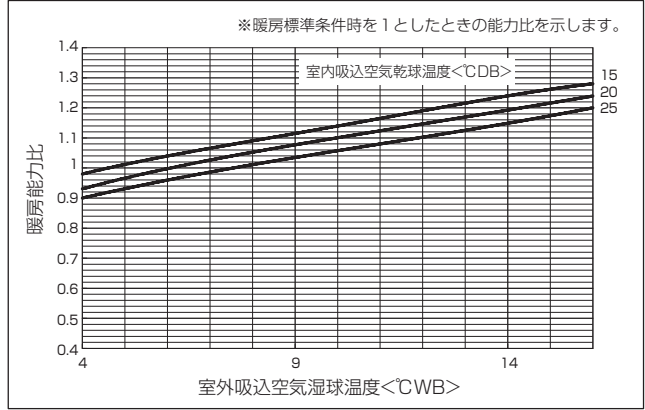
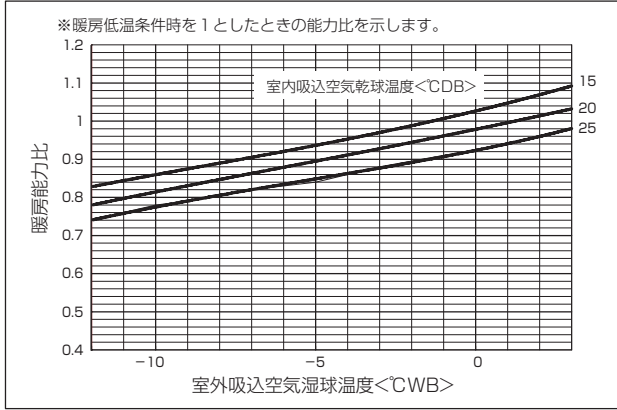
■冷房入力線図 PUZ-SRP・HA11



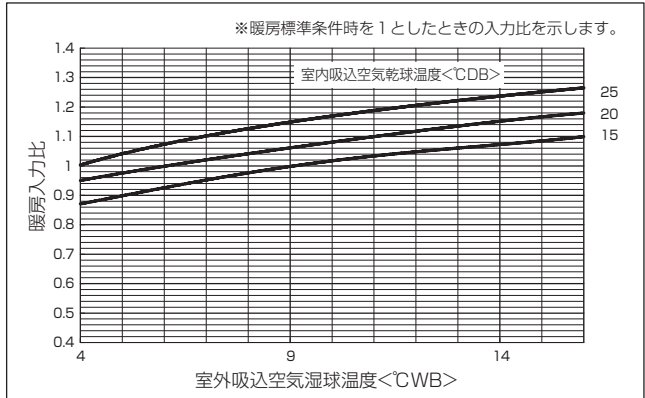
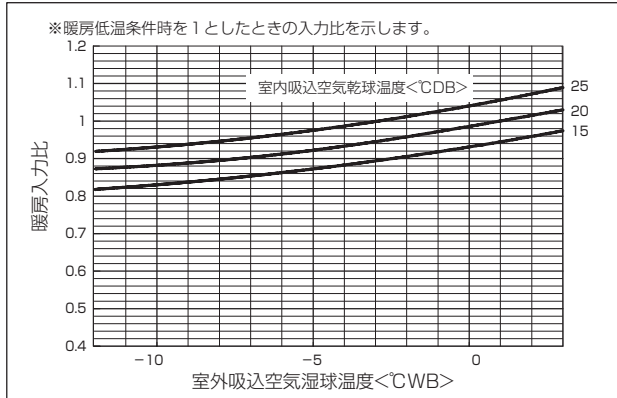
注) 本線図は、圧縮機運転周波数一定の場合を示します。

■暖房能力・入力線図 PUZ-SRP・HA11

(暖房能力線図)



(暖房入力線図)



IV 製品データ

1. 能力特性

※1.本値は、霜取補正を含んでいます。

<補正後の冷房・暖房能力の求め方>

冷房・暖房定格値は、JIS B8616 の条件で、冷媒配管 7.5 m における値を示しています。運転条件が異なる場合は能力線図を利用して、補正値を求めることができます。

- 補正後の能力(kW) = 定格能力 × (空気条件変化による補正 × 冷媒配管による補正)
 定格条件: JIS 8615-1 または 2 における標準空気条件で、冷媒配管 7.5m

a. 空気条件変化による補正

能力線図は、定格条件の値を 1 としたときの温度条件変化による比率を示します。なお、暖房については、室外吸込空気温度 4℃ WB 以上は暖房標準条件を 1、室外吸込空気温度 4℃ WB 未滿は、暖房低温条件 1 とした係数表を用いて補正値を求めてください。

【能力試験温度条件】 JIS B8615-1、B8615-2 による。

項目	試験条件		
	冷房標準	暖房標準	暖房低温
室内側吸込空気温度(℃)			
乾球温度	27	20	20
湿球温度	19	15	15
室外側吸込空気温度(℃)			
乾球温度	35	7	2
湿球温度	24	6	1

b. 冷媒配管長による補正

配管長に応じ、冷房能力及び暖房能力が低下します。(2)配管長による能力変化により算出してください。ガス配管径が標準の径よりワンランクダウンした場合、正規配管径と比較し冷房能力が低下します。ガス配管径が標準の径よりワンランクダウンした場合の線図により算出してください。
 補足: 配管相当長(m) = 配管実長(m) + ベンド数 × 0.3(m)